

奥能登地区流域治水協議会

令和6年奥能登豪雨災害を踏まえた奥能登地区流域治水対策検討部会

目的

令和6年9月、北陸地方に停滞する前線や低気圧の影響により、奥能登地区で線状降水帯が発生し、県内初となる大雨特別警報が輪島市、珠洲市、能登町で発表されるなど、断続的に激しい降雨となり、河原田川や若山川など複数の県管理河川が氾濫し、甚大な被害が発生した。

こうした今次災害を踏まえ、再度災害防止のための早期の復旧・復興、さらに今後もしばしば起こりうるこのような洪水に対して被害を軽減し、流域全体の安全・安心な暮らしの確保に向けた取り組みを緊急的に実施する必要がある。

このため、河川の整備などの「氾濫をできるだけ防ぐ、減らすための対策」と併せて「被害対象を減少させるための対策」「被害の軽減、早期復旧・復興のための対策」を、石川県創造的復興プラン等の観点を踏まえた上で、奥能登地区の豊かな自然環境を活かした能登の魅力の向上も目指しつつ、流域内の関係者が連携して緊急的かつ一体的に進めることを目的として、奥能登地区流域治水協議会の関係機関で構成する「令和6年奥能登豪雨災害を踏まえた奥能登地区流域治水対策検討部会(以下、「検討部会」)」を設置し、今次災害を踏まえた対策を取りまとめるものである。